

## 復興へ向け、継続した支援を！！ ～東北支援報告～

私は、八月八日から八月十五日まで福島県福島市の医療生協わたり病院（病床数一九六床）に支援に行きました。JRに一人で乗るのは初めてで迷子になりながら無事に福島県に着きホッとしました。内科・外科の混合病棟でフリー業務（注射・オムツ交換・シヤワー浴・清拭・口腔ケア・検査案内）等の業務をしていました。電子カルテや業務の流れを親切に教えて頂き、楽しく仕事をすることができました。一週間とはとても短く慣れた頃にお別れで後ろ髪を引かれる思いでした。

わたり病院では原発事故、被災によって発生している問題の把握と必要な支援・放射線被害から生命と健康を守る取り組み等の為に放射線問題対策委員会を設置し定期的に病院周囲の放射線量を測定・病院の水の放射線量を測定したり、保育園の除染を行い被爆を減らす努力や情報提供により職員の不安軽減に努めていました。また、仮設住宅に訪問し健康チェックや住民の声を傾聴し対応し、被災された方の力になつていました。「一人は万人の為に、万人は一人の為に」の医療生協の精神で職員も組合員の方も協力している姿に感動しました。

幼い子を育てながら働いている看護師さんは、子供に食べさせる食物は県外産を買うようにしていると話していました。また、福島では屋外で遊ぶないので子供のストレスが溜まっています。お休みがもらえて子供達を県外に旅行に連れて行き外でたくさん遊ぶことができたと言っていました。一週間と短い期間ですが来てよかったですと思いました。

福島滞在中も夜中に震度4の地震がありました。怖くて眠れないままに出勤すると患者さんの中には、泣きながら廊下にうずくまり朝まで眠れなかった方がいました。訪室し、夜中の地震について問うと「もっと大きな地震がまた来ないか怖くて眠れなかった、ご飯も食べられなかった」と涙ぐみながら話していました。地震の恐怖に怯えながらの闘病生活を考えると心が痛くなりました。心のケアの必要性も感じました。

仮設住宅で、東京に住む息子さんの所で避難し住んでいましたが、小学生のお孫さんが「お前のおばあちゃん放射能」といじめられたので東京で暮らす事をあきらめ仮設住宅に戻ってきたと聞いて、震災で傷ついた人の心をさらに子供の心ない言葉に深く傷つけられた事を考えると悲しくなりました。実際に被災地に行くだけが支援だと思いません。家庭で相手の立場に立って考える、被災された方々の気持ちを考える道徳教育も一つの支援だと思えます。ゆいまるの心が、すべての人々の心に広がる事を願います。

(3F 上間ルリ子)



## 1日看護体験

7月29日、高校生一日看護体験がありました。

その日は、コザ・具志川・普天間・球陽高校から、合計14人の高校3年生が参加し、看護師と同じピンクのユニホームを着て、ちょっぴりナースの気分を味わっていただきました。

病院案内が終わり、実際に病棟で過ごしたのは1時間ほどでしたがベッドメイキング、環境整備、お茶配り、血圧測定、患者様とのコミュニケーションなど、たくさんの事を行っていただいたのかと思います。

参加者のほとんどが進路は「看護師」と答えていました。あと何年か先の将来、本物のユニホームを着て一緒に仕事出来ることを楽しみにしたいと思います。

(2階 師長 島袋 幸枝)



## 婦人科開設のお知らせ

この度、中部協同病院に新しく婦人科外来が開設されました。今年の8月23日から外来受付が始まっています。

◀ 診療日 ▶

毎月 第2・4 火曜日 となっています。

◀ 担当医 ▶

担当医は 嘉陽 真美 先生です。

気になる症状や、受診に関する相談など、詳しくはお近くの職員、または外来の看護師へお問い合わせください！

# 長崎原水爆禁大会参加の報告

去る8月7日から9日まで、長崎原水爆禁止2011世界大会が長崎で行われ、約8000人の参加で盛り上がりました。この大会は、多くの国々に利益をもたらし、将来の世代にも利する重要な事業だといえるでしょう。そして、この大会において、国連軍縮問題担当上級代表セルジオ・ドウアルテ氏が、世の中から核をなくす署名を国連に啓示する約束をしてくれました。

66年前の8月9日、アメリカは長崎に第二次世界大戦最大の原爆を投下しました。この原爆は今もなお、人々に絶えることのない苦しみを与えています。被爆国、日本の運動は世界から注目されています。

原爆を始めとする核兵器はあってはならない、核兵器を持つ国がこの世界にはあってはならないと改めて感じました。

また、署名運動の原点である婦人の会は、なにも出来ないよりは訴える力を、と署名による活動を大切にしてきました。人々が署名により力強く現在まで行動を共にしているのです。「核兵器廃絶」その目標に向かって懸命に努力している長崎、広島の人々に教えられた世界大会でした。世の中の核をなくすことが重要視されている今、個々の一つひとつの力が大切になります。私たちが安心して平和に暮らしていけるよう、自分で何ができるのかを考え、私たちで平和な世界をつくっていけるよう頑張らしましょう。「兵器のない世界」の扉を開くために。

(栄養管理室 池間秀人)



(原水爆禁大会参加者)

## 中協部署紹介 ～外来～

組合員の皆さま、残暑が厳しくなるころですが、お元気ですか？さて、このたび中協の外来では、待望の泌尿器外来と婦人科外来が開設されました。泌尿器や婦人科は特殊な診療科です。外来の看護師にとっても未知の分野なので、開設にむけて那覇にある沖縄協同病院で研修を受けたり、勉強会(泌尿器)を開催してまいりました。まだまだ勉強不足ではありますが、先生方と一緒に盛り上げていきたいと思っています。

泌尿器外来は今年の四月に開設されました。担当医は 伊波 恵 先生です。ちなみに男性です。診療日は月・水・木の午前診療、第二・四週目の土曜日、午前診療の時間帯となります。婦人科外来は今年の八月二十三日から開設されたばかりです。担当医は 嘉陽 真美 先生です。診療日は毎月第二・四週目の火曜日となっています。

泌尿器科も婦人科も、受診するのに勇気がいると思いますが、先生方は二人とも若くて優しいので、気軽に受診してください。また、ご質問や気になることなどがありましたら、外来看護師に何でもお聞きください。私達、外来の看護師は、これからも患者様に安心・安全の医療・看護を提供していきたいと思っています。これからもどうぞよろしくおねがいします。

(外来看護師 水谷 千夏)

## AED勉強会に参加して

去る8月の通所責任者会議にて、他事業所で利用者が心肺停止となり、たまたま訪問診療で来ていた医師・看護師を呼んで救急対応してもらい救急車にて病院搬送した事例の報告がありました。自分が通所に異動してから重篤な急変事例はなく、実際に急変した際ちゃんと対応できるかどうか考えてしまいます。今回、会議から一週間もたたずにAED学習会があり、不安だった緊急時の対応、AED作動方法を学び大変良かったです。ただ、通所職員の参加が少なかったため、部署で利用者急変時の対応・AED作動法の学習会を再度開催したいと思いました。通所リハビリでは毎年、院外で新年会も行っているため、その際はAEDを貸してくださいね、歯科の方々(^^)



(AED勉強会の様子)

(通所リハビリ室 和仁屋 匡史)

## 健康まつりのお知らせ

去る八月十九日、第二回実行委員会で左記のことが決定しました。

《副実行委員長 決定》  
石川支部より 鈴木 淳一さんに副実行委員長を引き受けていただきました。

《日程 決定》  
平成二十三年 十月二十二日  
第一部 午後四時～午後六時  
(体力測定・健康チェック など)  
第二部 午後五時～午後八時  
(お楽しみステージ・出店バザー)

これからも内容が決まり次第、お知らせいたします。

(健康まつり実行委員会)

## エンジョイ☆脳トレ

皆さんこんにちは！もう夏も終わりに近づいていますが、季節の変わり目で体調を崩さないように気を付けていきましょう(^\_^)今月の脳トレはスペース上の問題でお休みとさせていただきます。ご了承ください。

《先月の答え合わせ》

問1「課」 問2「願」 問3「総」  
皆さん、全問正解できましたか？それでは来月の脳トレをどうぞお楽しみに！！